2012年４月９日

各　　位

会　社　名　トナミホールディングス株式会社
代 表 者 名　代表取締役社長　　綿貫　勝介
（コード番号　９０７０　東証・大証 第１部）
お問合せ先　経営企画室長　　三枝　保弘
（ＴＥＬ　0766－32－1850）

中期経営計画の策定に関するお知らせ

トナミホールディングスグループは、2015 年 3 月期を最終年度とする３カ年の「**第 19 次・中期経営計画** ***自己革新への道！！　イノベーション・プラン”19”***」を策定いたしましたので、お知らせいたします。

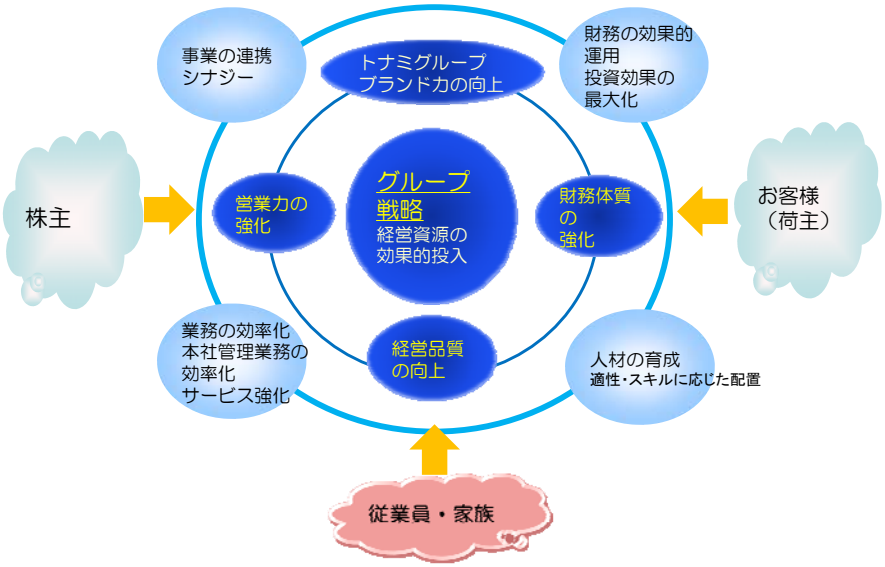
当社グループの目指すべき姿を明確にし、グループ一体となった経営の推進により、これからの社会のニーズを先取りし、企業価値の一層の向上をはかってまいります。

記

Ⅰ．前・中期経営計画の取組みについて

- 当社グループは、直近の３ヶ年計画である「第 18 次中期経営計画(最終年度・平成 23 年３月期)」の実行に取り組んでまいりましたが、2008 年９月に顕在化した金融危機など世界景気の後退の影響から、物流需要の激減などによる初年度以降の計画の軌道修正を余儀なくされました。
- その後も著しく変化する事業環境の中で、単年度計画として、前 3 ヶ年計画の骨子の継続的な取組みを行ない、このほど、「第 19 次中期経営計画」を策定し、主力物流事業の構造改革による収益力の強化と、新たな物流事業の創生による事業規模の拡大・成長をめざすこととしました。

Ⅱ．新・中期経営計画の概要について



１．基本方針

⑴事業構造改革により事業の拡大をはかる。

❶営業収益力の強化を促進する。

❷経営基盤の再構築により財務体質の強化をはかる

❸リスクマネジメントの強化をはかる。

⑵業務の効率化をはかる。

❶管理業務の効率化を推進する。

❷情報システム基盤の効率化や強化をはかる。

⑶人材の強化をはかる。

❶従業員満足度（ＥＳ）の向上をはかる。

❷人材育成を促進する。

❸適性・スキルに応じた配置を検討する。

２．事業戦略

⑴海外事業を推進する。

⑵グループ総合力の強化をはかる。

⑶グループ企業の役割・機能の明確化をはかる。

３．計画期間・業績目標

⑴期間　　2012 年４月１日～2015 年３月 31 日（３ヶ年）

⑵最終年度の連結業績目標

	※業績見通し (2012 年３月期)	最終年度 (2015 年３月期)
営業収益	120,200	124,000
営業利益	1,250	3,700
営業利益率(%)	1.0	3.0%
経常利益	1,550	4,000
当期純利益(税引後)	550	2,460
ROE(%)株式［自己資本］収益率	1.2%	5.0%

※第３四半期決算発表時の業績見通しであり、その後の動向により実際の業績とは異なる可能性を含んでいます。

以 上